

地域連携センター

NEWS

2010.07
tel 026-295-1325
fax 026-295-1926
chiiki@seisen-jc.ac.jp

清泉女学院地域連携フォーラム開催

今年2月20日、清泉女学院地域連携フォーラム「大学と地域の協働プログラムによる地域活性化」人から人へつながる思い」を開催しました。

第1部は、諏訪東京理科大学教授篠原菊紀先生の講演「ボケない脳をつくる」です。「健康と運動・食事・コミュニケーション」の関係について、興味深い話を聞くことができました。第2部は「学生と地域の皆様による活動報告」および地域活動を促進するための要因について意見交換を行いました。「NPO 法人夢空間松代のまちと心を育てる会」「AC長野パルセイロ」「長野市国際交流室」のそれぞれの団体が、学生と連携して実施した活動を報告し、地域、学生にとっての意義や、今後の活動促進の要因などについて意見を交

わしました。約100名の参加者からは、「地域委員の活発な話と学生の熱意に感銘した」など、人と人のつながりが希薄になってきている社会において、学生が地域の人と関わる取り組みの重要性また地域活動を通じた人材育成に期待する意見が寄せられました。ご参加いただいた地域の皆様にも心より感謝申し上げます。

地域連携センター協議会の開催

本学地域連携センターは、学内の委員会のほか、地域委員・学生委員・教職員で構成する「地域連携センター協議会」を設置しています。地域の皆様の意見、学生の視点を本学の地域連携活動に生かすことが目的です。

今年3月、第2回目の協議会を開催しました。国際親善クラブ会長小出博治氏、長野市社会福祉協議会地域福祉課課長小林博明氏、ISHIKAWA地域文化企画室代表石川利江氏の地域委員の皆様と



ともに、今後の地域連携センターのあり方について意見交換を行いました。内容としては、現在本学が連携協力の協定を締結している団体との今後の連携についての継続と深まりの必要性、また、地域の情報の把握と学生の意欲をマッチングさせるシステムの必要性などが検討されました。地域連携センターが多く、学生が集う空間となり、学生同士の情報交換、センターオフィスとの連携など、今後ますます充実し活動が広がることを期待します。

生涯学習

「地球環境問題に挑戦する先住民族の叢智」――進歩史観より温故知新――

特別講演会 月尾嘉男先生

去る6月26日(土)、ホテル犀北館で、「地球環境問題に挑戦する先住民族の叢智」と題した月尾嘉男先生の講演会を開催しました。月尾先生は、1942年生まれの工学博士、東京大学名誉教授。建築学・メディア環境学を専門とされ、「IT革命のカラクリ」(アスキー)、『縮小文明の展覧』(東京大学出版会)などの著書のほか、地球環境問題を考える論文を雑誌

やネット上で発信し、人類・地球の未来に警鐘を鳴らしています。その一環として世界各地の「先住民」と呼ばれる人々を訪問し、現地の人々と交流する様子がTB S・NHK衛星放送等で放映されています。

月尾先生は、成長第一主義・進歩史観が、地球の自然環境や文化環境を破壊してきたという反省に立って、確かなデータに基づいて

環境問題の問題点を指摘し、人類が生き延びるためには、先住民族の文化を見直し、その叢智に学ぶべきだと熱く語られました。月尾先生が伝えてくれた先住民の言葉「この空や大地をどうして私たちが所有できるのか。どうやってそれに線を引くことができるのか」が、聴衆者約150名の胸に深く刻まれました。

清泉女学院特別講演会



■授業開放講座(秋) 9月24日(金)~1月31日(月)の該当する曜日 受講料 各講座 10,000円

授業名	曜日	時間	開講日	授業名	曜日	時間	開講日				
心理講座	発達心理学(青少年発達)	月	9:00~10:30	9/27	自己発見の方法	火	9:00~10:30	9/28			
	心理学概論	火	9:00~10:30	9/28	宗教と文学	火	12:55~14:25	9/28			
	学校臨床心理学	火	12:55~14:25	9/28	聖書	火	14:35~16:05	9/28			
	学習心理学	水	10:40~12:10	9/29	宗教学	火	14:35~16:05	9/28			
	臨床心理学	木	12:55~14:25	9/30	コンピュータ概論	水	9:00~10:30	9/29			
言語講座	英語授業学I	月	10:40~12:10	9/27	英米の文学	水	12:55~14:25	9/29			
	中国語II	火	10:40~12:10	9/28	アジア文化研究	水	12:55~14:25	9/29			
	子どもと英語	水	12:55~14:25	9/29	歴史学入門	水	14:35~16:05	9/29			
	英語基礎III	木	10:40~12:10	9/30	手話通訳	木	10:40~12:10	9/30			
	英語科教育法I	木	12:55~14:25	9/30	ジェンダー論	木	12:55~14:25	9/30			
教養講座	キリスト教概論	月	13:55~15:25	9/27	道德教育の研究	木	12:55~14:25	9/30			
	比較文化論	月	10:40~12:10	9/27	東アジア文化研究	木	12:55~14:25	9/30			
	比較文学	月	13:55~15:25	9/27	自然科学概論	金	10:40~12:10	9/24			
								情報処理IIA	金	14:35~16:05	9/24

■公開講座

講座名	担当	日付	場所
芭蕉・蕪村・一茶の世界	玉城 司	7月3日	生涯学習センター
幼児へのカウンセリングについて	田中 秀明	7月3日	
中学生と親のための「たてなおいの英語」	田村 亮子	8月21・28日 9月4・11日	
マナー講座 ~日常のマナー~	高沢 貴子	9月4・11日	清泉女学院学内
親子で作ってあそぼう!~木の工作遊び~	桜井 剛	9月18・25日	
キリスト教宣教史とその課題	古橋 昌尚	9月25日	生涯学習センター
高齢者のための人間科学~いつまでも若々しくあるために~	田中 秀明	10月9日	
中国四大美人	王 秋菊	10月9・23・30日	
測定と評価を考える	中村 洋一	10月23日	
心くぼりのできる話し方	傳田 亮文	10月30日・11月6日	
Carol Cantabileクリスマス・キャロルを歌う ~一緒に歌うあなたのキャロル~	高橋 正道 トーマス・ジョエル 滝澤 広子	12月10日	

受講料など詳細については地域連携センターへお問い合わせください。

国際交流&ボランティア活動

ハニャン女子大生(韓国)を 善光寺や小川村に案内して交流

6月23日(水)〜24日(木)、清泉学院の姉妹大学であるハニャン女子大学(韓国)から教員3名、学生38名が来校しました。ハニャン女子大学はソウルにあり、今年からは本学と姉妹校提携を結んでから15年になります。毎年6月に韓国から学生が来日し、9月には本学の学生が韓国を訪れています。



23日には歓迎式典が行われ、ダンスサークルによる発表や、韓国学生による歌やダンスの披露が行われました。午後からは本学の学生が善光寺周辺や長野市内を案内して親睦を深めました。24日には大で書道や浴衣の着付け講座が行われ、午後からは小川村に出かけ、おやきを作る体験をしました。今年、短大・国際コミュニケーション科2年生の学生が中心となり、受け入れプログラムの企画・運営を行いました。

参加した韓国の学生からは「普段教科書でしか日本語に触れていなかったけれど、日本の学生とたくさん話ができて楽しかった」、日本の学生からは「日本語が上手でびっくり!好きなアイドルやファッションも似ていて、話をしていたら時間があつという間にたつていた」などの感想が聞かれました。「また会おうね」と言いながらメールアドレスを交換し、いつまでも別れを惜しんでいた姿が印象的でした。2日間の短い交流でしたが、両国の学生にとって忘れられない経験となりました。

長野マラソンのボランティアに参加して

言葉の重要性を感じた 視覚障がい者との関わり

幼児教育科2年 浦野桜子



長野マラソン視覚障がい者の部にボランティアとして参加させていただきました。私は、今までに視覚障がい者の方と関わるという機会がなかったので、選手の方々の力になることができるか不安でいっぱいでした。

大会当日は、選手の方々とお話する中で自然に緊張が解け、とても楽しい時間を過ごせたと同時に、「言葉で伝える」ことの重要性を感じました。また、選手の目になることの難しさや一人ひとりの選手に合わせた援助をすることの大切さも知りました。

最初は戸惑った部分もありましたが、とても楽しく、有意義な時間を過ごすことができ、本当に良い経験をさせていただきました。またこのような機会があったら、積極的に参加していきたいと思えます。

車いすの試乗を通じた 出会いと気づき

国際COM科2年 山下 瞳

4月18日、長野車いすマラソン大会のイベント会場で、車いすの試乗体験のボランティアに参加しました。

当日は天候に恵まれ、たくさん子どもが試乗コーナーに来てくれました。子どもたちが転倒したり車輪に手を挟んだりしないよう安全に気をつけたら、担当の方に車いすについて教えていただいたりしました。子どもたちは「漕ぐのはとても難しいけれど、自分が進めた!」と初めての体験に驚きながら試乗しました。中には3回も体験コーナーに来てくれた子ども



いました。私も「レーサー」という競技用車いすに乗ってみたのですが、前かがみの姿勢で乗るので目線の違いや方向転換の難しさに驚きました。

このような体験は、障がいのある皆さんのスポーツを知っていたくよ機会であると思いますので、これからも多くの人に体験していただきたいです。

■ボランティア年間予定表

★毎年行われているボランティア活動です

月	活動
4月	第5回長野車いすマラソン大会ボランティア 長野オリンピック記念長野マラソン視覚障害者の部 ながのアーステイン若里公園
5月	長野地区障害者スポーツ大会 長野市障害者スポーツ大会
6月	泉水祭りボランティア 野尻湖カブトアスロン・ジャパンオープン 伊那谷こども村サマーキャンプ
7月	「小布施見にマラソン」運営ボランティア サマーチャレンジボランティア サマーチャレンジボランティアinちくま 東御市梅野記念絵画館スケッチ大会ボランティア
8月	長野びんずるボランティア 長野県障がい者スポーツ大会
9月	小田切園祭ボランティア ふれあいまつり
10月	松代藩真田十万石まつり 全日本フロアホッケー競技大会ボランティア
11月	軽井沢ソーデーウォークボランティア
12月	緑川キャンドルナイト
1月	学生ボランティア交流集会(塩尻総合文化センター)
2月	長野灯明まつりボランティア
3月	学生ボランティア交流集会(松本中央公民館) 柳町老人福祉センター発表会スタッフボランティア
通年	バルセイロボランティア(キッズアカデミー) バルセイロボランティア(ホームゲーム)